

ダイヤフラムバルブ750シリーズ

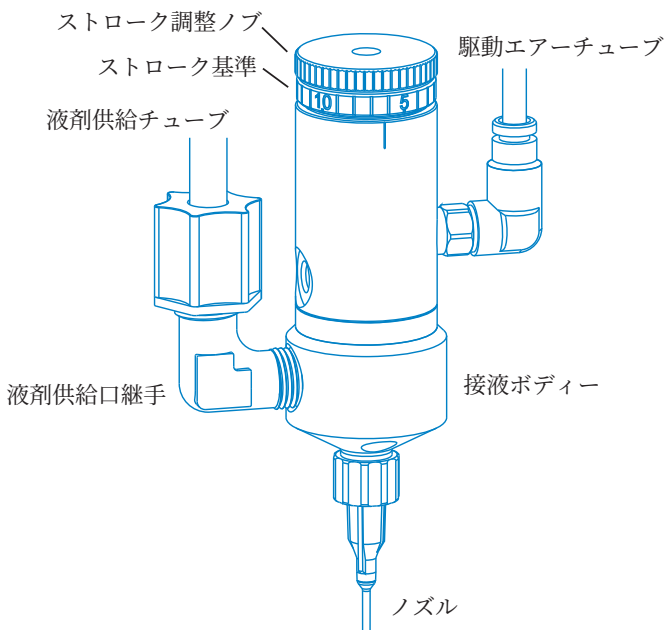
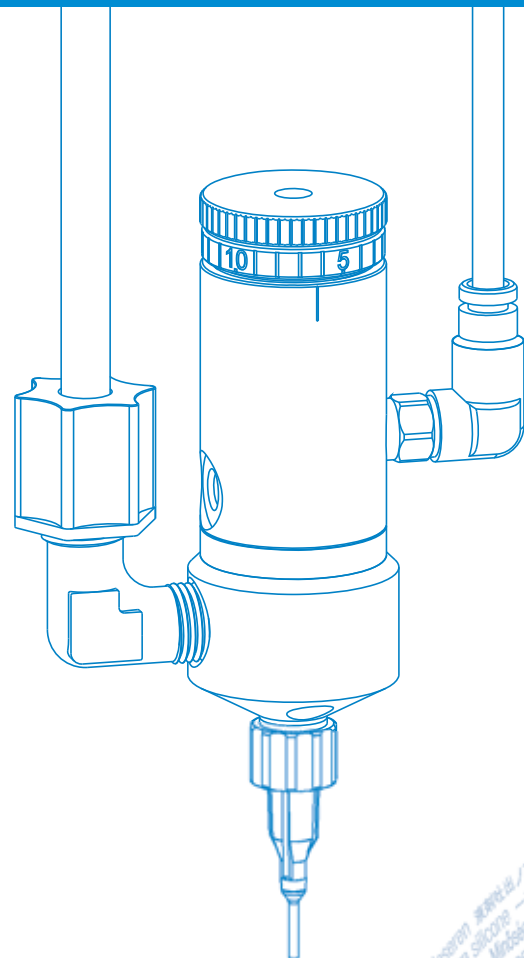
取扱説明書

はじめに

ダイヤフラムバルブ750シリーズは、取り扱いが簡単で、メンテナンスなしで数百万サイクルの運転が可能です。低~中粘度の液剤を、正確な吐出量で、非常に高い再現性を持って吐出する設計となっています。750V・750V-SS・751V・752V・752V-SS・752V-UH 752V-UHSS・752V-DVD・752V-UH DVDの全9機種をご用意しています。

駆動部アセンブリは全機種において共通ですが、接液ボディとダイヤフラムが機種別に異なります。752Vシリーズの接液ボディは、ボディ先端に液剤吐出部があり、750Vおよび751Vは、接液ボディの側面に液剤吐出部が取り付けられています。

各バルブには、ノズルアダプター、液剤供給継手、5フィート(1.5m)の駆動エアーチューブが付属しています。



TM

取付

バルブの取付の前に、接続するタンクやバルブコントローラーの取扱説明書をよく読み、ディスペンスシステム全ての構成機械の取扱方法をよく理解してください。

1. 液剤供給チューブをバルブに接続します。外径3/8"のチューブを使用する場合は、継手を付属の#7610BPを使用ください。
2. 液剤供給チューブをタンクに接続します。液剤タンクは、外径1/4"のチューブか、#62518PTを使用して外径3/8"のチューブと接続することができます。
3. バルブの駆動エアータブを、バルブ開放時間を制御するコントローラー ValveMate™8000 (ソレノイドパック) へ接続します。

4. ノズルを選択します。低粘度液剤をご使用の場合は小さいノズル (20ゲージ)、高粘度液剤をご使用の場合は大きめのノズル (14ゲージ) を選択ください。

5. タンクに液剤を入れます。このとき、タンクに液剤を直接注ぐ、あるいは液剤メーカーのボトルをタンク内に設置することが可能です。圧力かける前に、確実にふたを閉めてください。

6. 液剤の粘度に合わせて、タンク圧力を設定します。

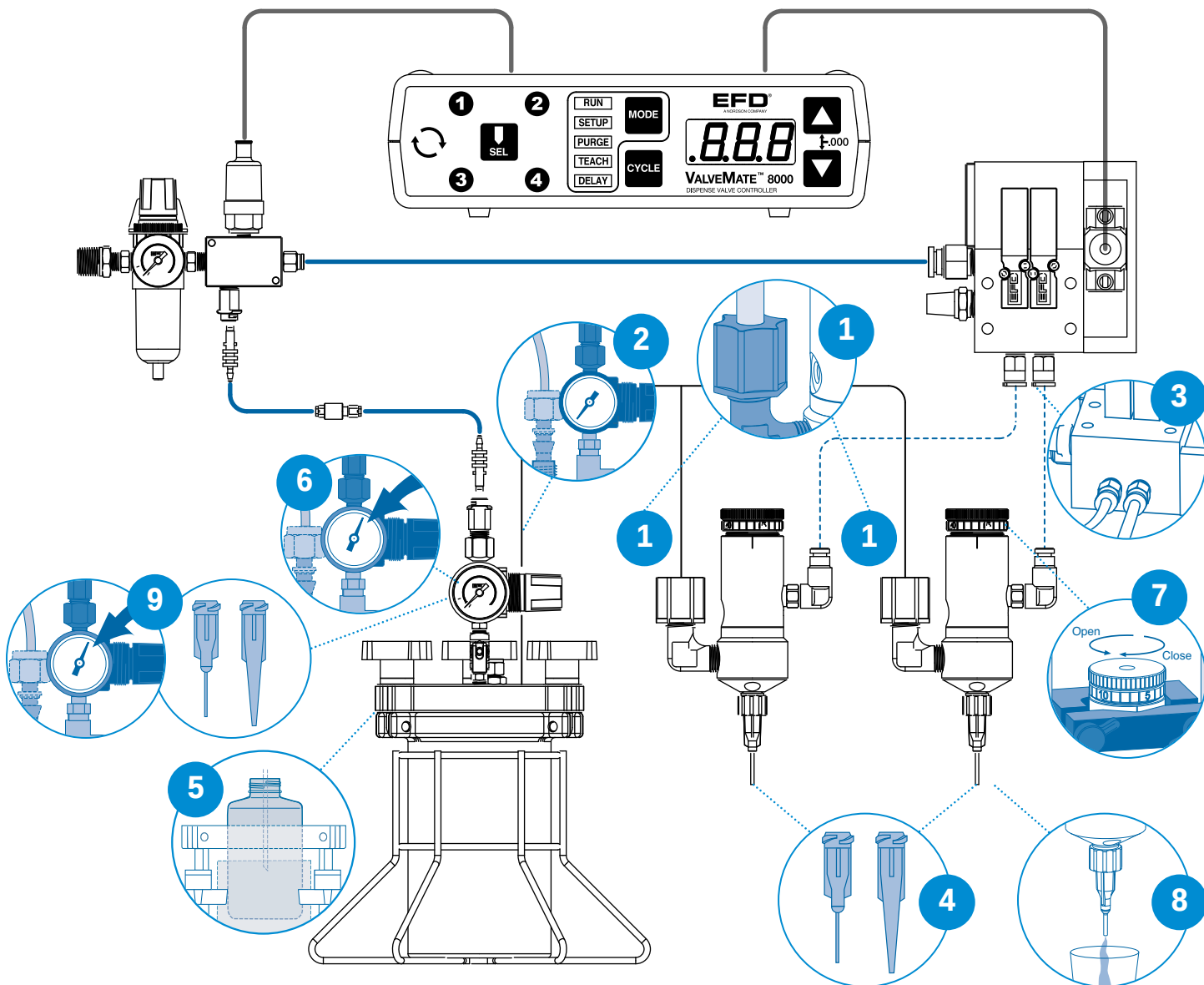
7. ダイアフラムのストロークを設定します。最初は、1/2回転以内に設定してください。*

8. ノズルの下に容器を置き、液剤供給チューブ、バルブ、ノズルからエアが完全になくなるまでバルブを駆動します。

9. タンク圧の調整、ノズルの交換により、吐出量を設定します。

*ストローク調整ノブを締めすぎないように注意してください。また、開放方向に2回転以上させないでください。2回転以上開いた場合、加圧された液剤がダイヤフラムシール部を押し開き、液剤が継続的に流れ出る恐れがあります。

注：吐出量は、バルブの開放時間によって設定してください。また、バルブコントローラーの取扱説明書を参照してください。



バルブの動作

70psi (0.48MPa) のエア圧をかけることにより、内部ピストン ① を押し上げます。ダイヤフラムを押しつけていたピストンロッド ② が引き上げられ、シール部を開きます。これにより、③ より液剤が吐出されます。エア圧がかかっていないときは、ピストンが再度押し付けられ、ダイヤフラムを閉じます。

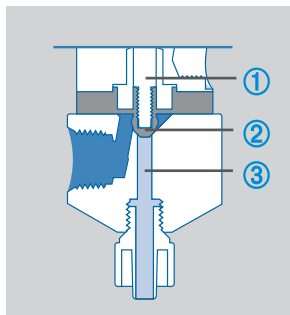
液剤の吐出量は、バルブ開放時間、液剤の粘度、液剤タンクにかかるエア圧、ノズルのサイズ、そしてダイヤフラムのストロークで変化します。流量は、タンク圧、ノズルのサイズ、そして液剤の粘度の組み合わせによって変化します。

バルブのキャリブレーションを行なうには、ストローク基準にある「ゼロ」のマ

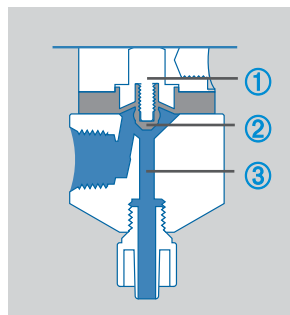
ークをバルブ本体にある2つの参照位置のどちらかに合わせてください。位置決めネジを締めると、バルブのキャリブレーションが終了します。

吐出量は、バルブの開放時間によって設定してください。

752Vと752V-UHの液剤経路

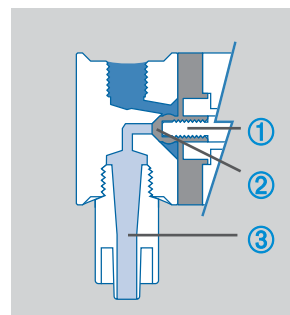


閉鎖時

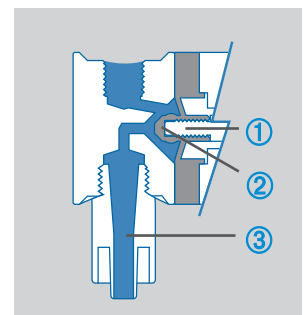


開放時

750Vと751Vの液剤経路



閉鎖時



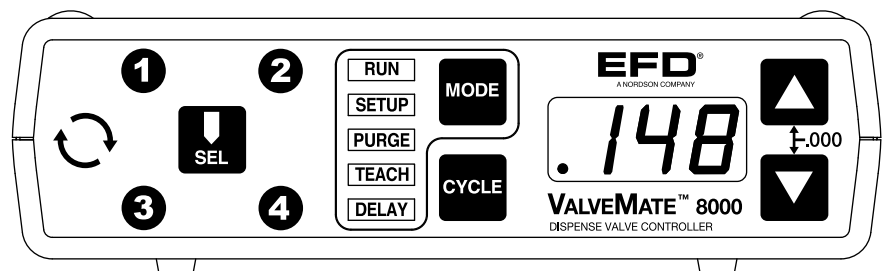
開放時

ValveMateコンセプト

ValveMate8000は、エンドユーザーのお客様のご使用において、利便性と効率を最大限にするために、バルブの調整を簡単にするバルブコントローラーです。吐出量の主な調整要素はバルブ開放時間です。ValveMate8000は、バルブの近くに設置され、押しボタンでバルブ開放時間を設定することが可能です。

ValveMate8000は、マイクロプロセッサにより、吐出量を非常に高精度の制御をおこないます。

ディスペンシングステーションで、液剤経路のパーズやショットサイズの設定を、製造ラインを止めることなく、素早く簡単に行うことが可能です。



重要：ソレノイドマニホールドブロックは、別にご注文ください。詳細については、ノードソン EFDにお問い合わせください。

www.nordsonefd.com

japan@nordsonefd.com

Tel: 03-5762-2760

Fax: 03-5762-2737



仕様

共通

ダイヤフラム： UHMW*ポリエチレン
入力エア： 70~90 psi (0.48~0.62 MPa)
最大液剤圧力： 70 psi (0.48 MPa)
作業最高温度： 43°C (110°F)

750V・750V-SS

寸法： 64.7 mm(L) x 23.8 mm(直径) (2.55" x 0.94")
重量： 750V – 93.5 g (3.30 oz)
750V-SS – 165.8 g (5.85 oz)
エアシリンダー本体： 750V – 硬質アルミニウム
750V-SS – SUS303
接液ボディー： UHMW*ポリエチレン
フリーフロー径： 直径1.57 mm (0.062")
液剤供給口ネジ： 1/4-28 UNF
吐出口ネジ： 5/16-28 UNF
ノズルアダプター： ポリプロピレン

751V

寸法： 64.7 mm(L) x 26.9 mm(直径) (2.55" x 1.06")
重量： 101.7 g (3.59 oz)
エアシリンダー本体： 硬質アルミニウム
接液ボディー： アセタール共重合体
フリーフロー径： 直径2.03 mm (0.08")
液剤供給口ネジ山： 1/8 NPTメス
吐出口ネジ山： 1/8 NPTメス
ノズルアダプター： ナイロン

752V、752V-UH/752V-SS、752V-UHSS

寸法： 80.7 mm(L) x 26.9 mm(直径) (3.18" x 1.06")
重量： 752V、752V-UH – 99.5 g (3.51 oz)
752V-SS、752V-UHSS – 181.9 g (6.42 oz)
エアシリンダー本体： 752V、752V-UH – 硬質アルミニウム
752V-SS、752V-UHSS – SUS303
接液ボディー： 752V、752V-SS – アセタール共重合体
752V-UH、752V-UHSS – UHMW* ポリエチレン
フリーフロー径： 直径2.5 mm (0.10")
液剤供給口ネジ： 1/8 NPTメス
吐出口ネジ： 1/4-28 UNF
ノズルアダプター： ポリプロピレン

* UHMW： 超高分子量

752V-DVD、752V-UHDVD

寸法： 80.7 mm(L) x 26.9 mm(直径) (3.18" x 1.06")
重量： 752V-DVD – 172.9 g (6.1 oz)
752V-UHDVD – 99.5 g (3.51 oz)
エアシリンダー本体： SUS303
接液ボディー： 752V-DVD – SUS303
752V-UHDVD – UHMW* ポリエチレン
フリーフロー径： 直径2.5 mm (0.10")
液剤供給口ネジ： 1/8 NPTメス
吐出口ネジ： 1/4-28 UNF 752V-UHDVD
752V-DVD (該当なし)
ノズルアダプター： 752V-DVD – アルミニウム
752V-UHDVD – ポリプロピレン

自動ライン、手作業、いずれのアプリケーションにおいても、ValveMate8000をご使用頂くことにより、バルブの安定した運転と簡単な吐出量調整が可能になります。

EFDのロボットは、メインシステムに塗布コントロールを統合します

詳細は、ノードソンEFDにお問い合わせください。

Nordson EFD LLCは、世界30ヶ国に販売・サービス拠点を持っています。詳細は、www.nordsonefd.com をご覧ください。

ノードソン株式会社 EFDビジネスグループ
〒140-0012
東京都品川区勝島1-5-21 東神ビル8F
Tel : 03-5762-2760
Fax : 03-5762-2737
japan@nordsonefd.com www.nordsonefd.jp

Nordson EFD LLC
East Providence, RI USA
USA & Canada: 800-556-3484; +1-401-431-7000
info@nordsonefd.com www.nordsonefd.com

WAVEデザインは、Nordson Corporationの登録商標です。
©2010 Nordson Corporation 750-INSTALL-09 v050610

